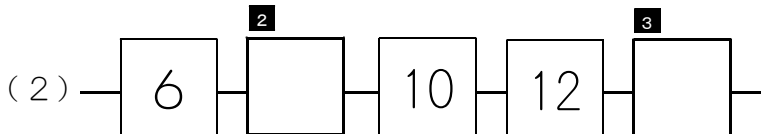
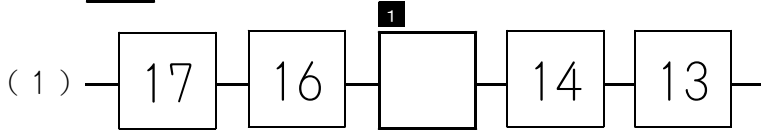


★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 □ に あてはまる かずを かきましょう。



2 とけいを よみましょう。



4 □

3 つぎの もんだいに こたえましょう。

- (1) みかんが 3こ あります。  
りんごが 8こ あります。  
かずの ちがいは いくつですか。  
みぎの【ず】を つかって かんがえ、  
しきと こたえを かきましょう。

【ず】  
みかん ●●●  
りんご ○○○○○○○○

5 □  
しき

6 □  
こたえ

- (2) ちゅうしゃじょうに くるまが 5だい あります。  
あとから 7だい きました。  
ぜんぶで なんだいに なりましたか。  
したの【ず】を つかって かんがえ、しきと こたえを かきましょう。

【ず】 ●●●●● ○○○○○○○○

7 □  
しき

8 □  
こたえ

※つぎのページにも、もんだいがあります。

4

つぎの ①から③の もんだいを よんで、しきが  $8 + 5 - 3$  になるものを 1つえらんで、ばんごうを かきましょう。

①

くるみが 8こ ありました。  
5こ あげました。  
あとから 3こ もらいました。  
くるみは なんこに なったでしょうか。

②

がようしが 8まい ありました。  
5まい つかいました。  
また、3まい つかいました。  
のこりは なんまいでしょうか。

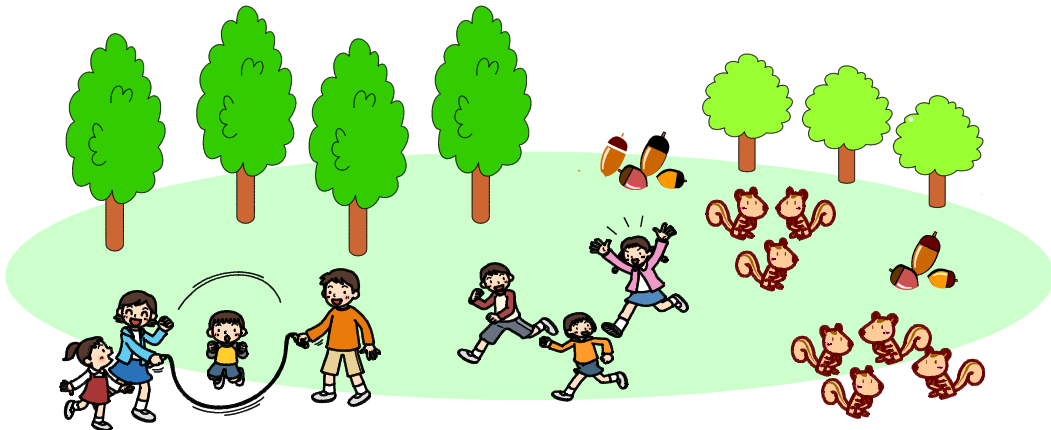
③

バスに こどもが 8にん のっています。  
あとから 5にん のりました。  
つぎに 3にん おりました。  
バスに こどもは なんにん のっていますか。

9

5

えを みて、 $4 + 3$ の しきに なる もんだいを つくりましょう。



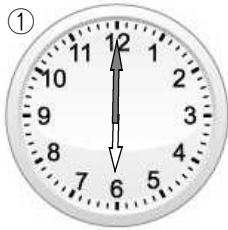
10

Blank box for writing the answer to question 5.

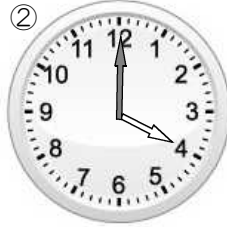
〔算数〕 小2 組 番号 名前

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 つぎのもんだいに答えましょう。



朝、おきた時こく



夕方、家を出た時こく



公園についた時こく



(1) 上の①から③までの時計とことばを見て、時こくを午前、午後をつけて、それぞれ書きましょう。

1 ①

2 ②

3 ③

(2) 家を出てから、公園につくまでの時間は、何分間でしょうか。

4

2 みゆきさんは、 $125 - 67$  の計算をつぎのようにひっ算しました。かずきさんは、みゆきさんの計算のまちがいを下のようにせつめいしています。

みゆきさんのひっ算

$$\begin{array}{r} 125 \\ - 67 \\ \hline 68 \end{array}$$

十のくらは、一のくらゐに1くり下げたので、2ではなく、1にしなくてはいけません。  
正しい十のくらのけいさんは  $11 - 6 = 5$  になります。



かずきさんのせつめいのように、つぎのともやさんの計算のまちがいをせつめいし、正しい答えになおしましょう。

ともやさんのひっ算

$$\begin{array}{r} 136 \\ - 48 \\ \hline 98 \end{array}$$

5 せつめい：

正しい答え

※つぎのページにも、もんだいがあります。

3 つぎのひっ算で、□にあてはまる数字をかきましょう。

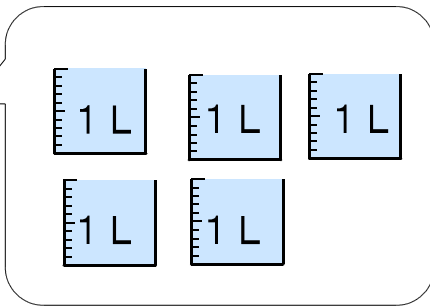
(1) 
$$\begin{array}{r} \square 9 \\ + 35 \\ \hline 74 \end{array}$$

(2) 
$$\begin{array}{r} \square 6 \\ - 48 \\ \hline 28 \end{array}$$

7

8

4 下のポットに入る水のかさを、ア、イのあらわし方で書きましょう。



9 ア  L

10 イ  mL

5 つぎの2つの3けたの数の大きさをくらべます。

5 □ 3      5 6 2

上の3けたの数5□3の十のくらくらいには、まだ数字が入っていません。  
5□3が562よりも大きい数になるとき、□には、どのような数があてはまりますか。

0から9までの中で、あてはまる数をすべて書きましょう。

11

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 14 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

つぎ もんだい  
次の問題に答えましょう。

(1) 数字で書きましょう。

① 三百十四万五千六百八十六

1

② 1000万を5こと、100万を8こと、1万を9こ合わせた数

2

(2) 92000はどんな数ですか。  にあてはまる数を書きましょう。

①  と2000を合わせた数

3

② 1000を  こ集めた数

4

2

ひっさん  
次の筆算で、  にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 58 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

72.....

5

× 9

450.....

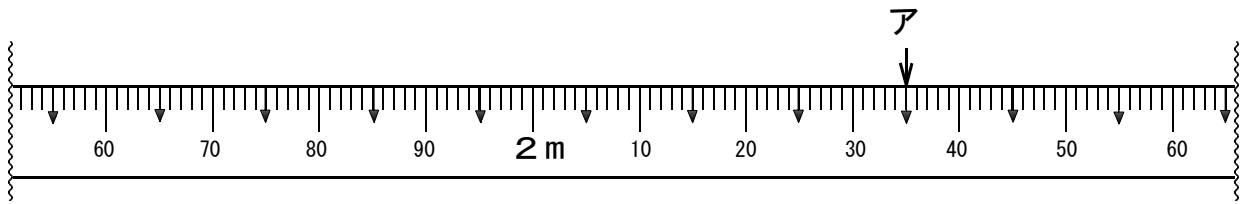
6

× 9

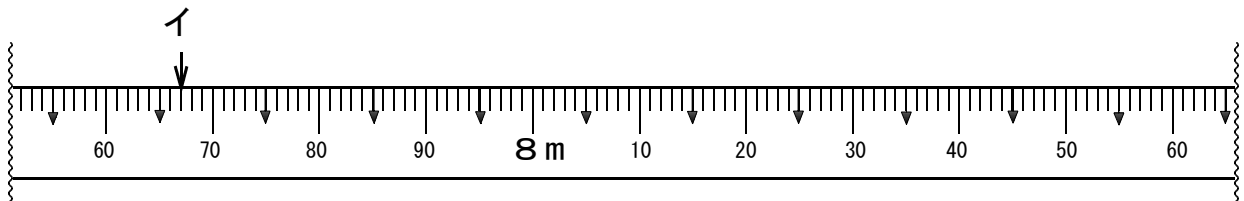
$$\begin{array}{r} 522 \\ \hline \end{array}$$

つぎ もんだい  
※ 次のページにも、問題があります。

3 アとイのめもりが表す長さを書きましょう。

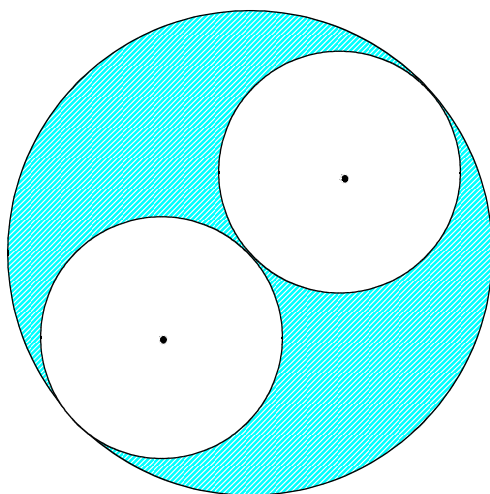


ア



イ

4 下の図のように、直径が20 cmの円の中に、同じ大きさの円が2つ入っています。小さい円の半径は何 cm でしょうか。

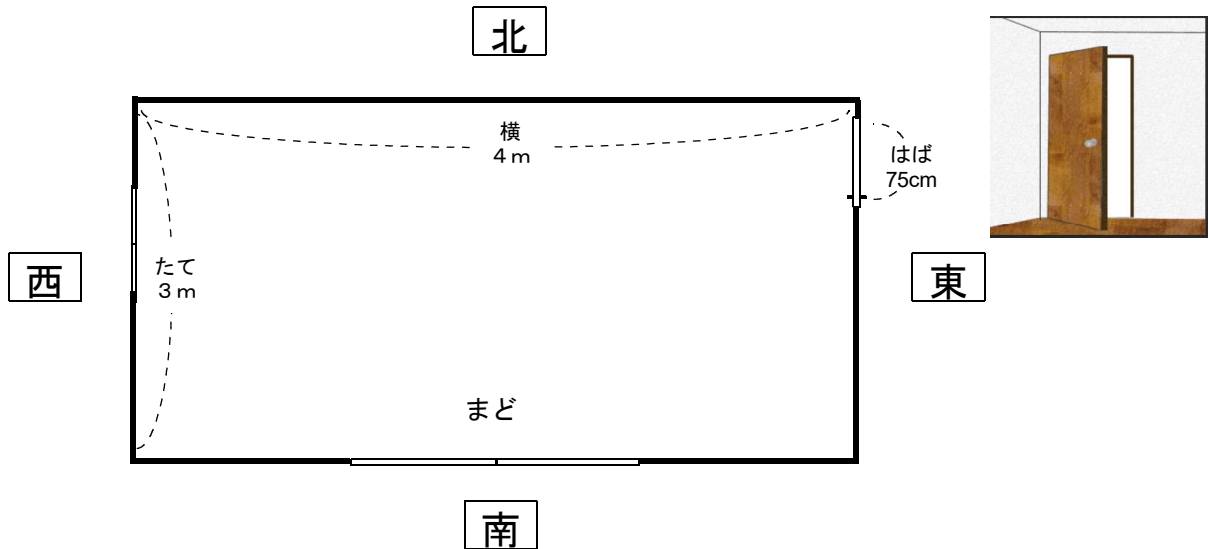


※ 次のページにも、問題があります。

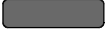

5

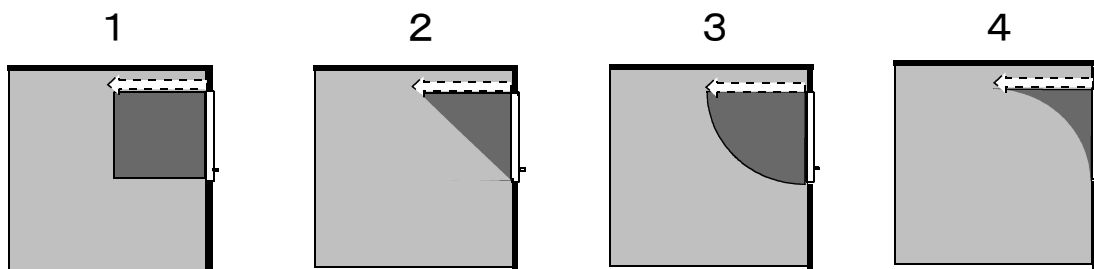
下の図のような、たてが3 m、横が4 mの長方形の部屋があります。部屋の東がわには、ドアがあります。このドアは、はばが75 cmで、部屋の内がわに開きます。

ひろ子さんは、この部屋の中にいろいろな物をおこうと考えています。



ドアを開け閉めするとき、おいた物にドアが当たってしまう場所と、当たらない場所を調べて図に表します。

ドアが当たってしまう場所を  で、当たらない場所を  で表すとき、それぞれの場所を正しく表している図を、下の1から4までのの中から1つえらんで番号を書きましょう。

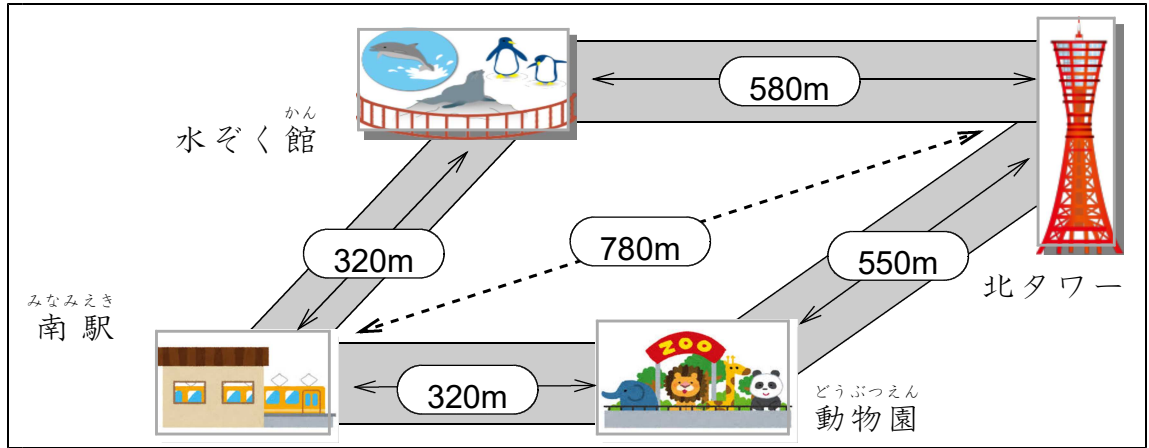


10

※ 次のページにも、問題があります。

6

下の地図を見て、問題に答えましょう。



(1) 南駅から北タワーまでのきょりは何mですか。

11

(2) 南駅から水ぞく館を通して北タワーに行く道のりと、南駅から動物園を通して北タワーに行く道のりでは、どちらが短いでしょうか。どちらが短いかを答え、そのように考えたわけを、言葉や数を使って答えましょう。

12  南駅から

を通して北タワーに行く道のりのほうが短い。

13 わけ：

(3) そういちろうさんは、北タワーから水ぞく館に行くのに、歩いて10分かかります。午後3時までに水ぞく館に着くためには、何時何分までに北タワーを出ればよいですか。

14



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 次の問題に答えましょう。

- (1) たけるさんは、 $70 + 30 \times 8$  の計算を右のようにしました。  
 計算のまちがいをみつけて、まちがえたわけを説明しましょう。  
 また、正しい答えを求めましょう。

たけるさんの計算  
 $70 + 30 \times 8 = 800$

まちがえたわけ

1

正しい答え

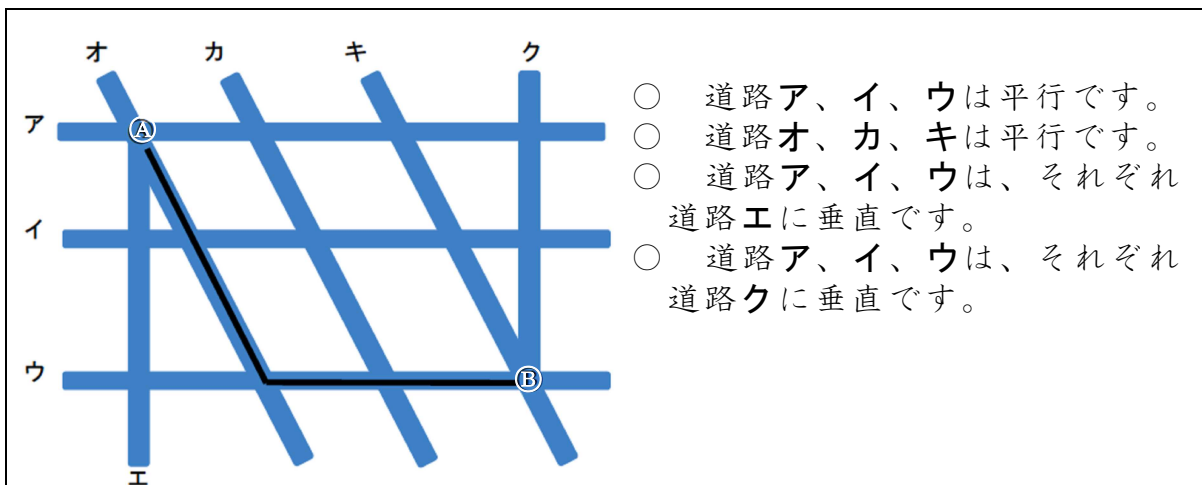
2

- (2) たけるさんは、「70円のチョコレート1こと30円のガム1こを1組にしたものを8组分買ったときの代金」を計算の順序を考えて計算しようと考えました。  
 あてはまる式を①～③から一つえらんで記号で答えましょう。

- ①  $70 + 30 \times 8$       ②  $(70 + 30) \times 8$       ③  $70 \times 8 + 30$

3

2 ひろしさんは、買い物に行きました。交差点Aから交差点Bまで行くのに下の地図の中にある **——** の道を通りました。



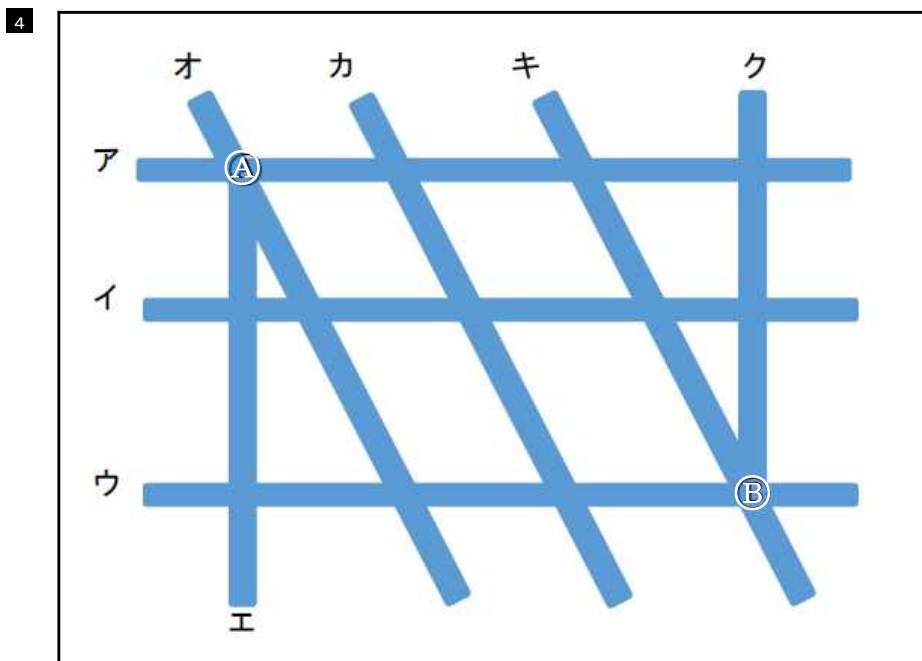
※次のページにも、問題があります。

(1) ひろしさんは、買い物を終えたので交差点 ㉓から交差点 ㉒まで帰ろうと思います。

来たときに通った道を通らずに、同じ道のりで帰るためには、ひろしさんはどの道を通ればよいですか。

下の地図に1通りだけ、線(——)をかきましょう。

(道にそってはかった長さを「道のり」といいます。)



(2) ひろしさんは、地図をみたとき、道路ア、道路ウ、道路オ、道路キで囲まれる形に、ある図形の特ちょうをみつけました。ある図形の名前を答えましょう。また、その図形の特ちょうを答えましょう。

図形の名前

5

図形の特ちょう

6

3 児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、10000こでした。7月までの4か月間に集めたこ数は、下の表のとおりです。

7月までの4か月間に集めたこ数

月	4月	5月	6月	7月
こ数(こ)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



まなぶ

集めたこ数の合計は、目標に達しているかな。



はるか

目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すれば、わかります。  
 およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・四捨五入する
- ・切り捨てる
- ・切り上げる



ゆうと

切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	1000+1000+2000+2000 = 6000			

実さいの数より小さい数にして和が6000だから、集めたこ数の合計が6000こ以上であることはわかります。

(1) 四捨五入して計算します。次の①の式に入る数と、②に入る数を書きましょう。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数	1891	1982	2903	2473	
	↓	↓	↓	↓	
およその数の計算					②
	①				

実さいの数に近い数にして和が ② だから、集めたこ数の合計が約 ② こだることはわかります。

7 ①

1891	1982	2903	2473
↓	↓	↓	↓

8 ②

※次のページにも、問題があります。

(2) 切り上げて計算します。次の③に入るふさわしい文を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

切り上げて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	$2000 + 2000 + 3000 + 3000 = 10000$			

③

ことがわかります。

- 1 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、目標に達している
- 2 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、目標に達していない
- 3 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、目標に達している
- 4 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、目標に達していない

9

③

(3) 9月から12月までの間に集める目標も、10000こです。11月までの3か月間に集めたこ数は、下の表のとおりです。

**11月までの3か月間に集めたこ数**

月	9月	10月	11月
こ数(こ)	3009	2514	2120

はるかさんは、目標に達するには、12月におよそ何このキャップを集めればよいかを、次のように考えました。

**はるかさんの考え**

3か月間に集めたこ数の合計を、次のようにして計算します。

実さいの数	3009	2514	2120
	↓	↓	↓
およその数の計算	$3000 + 2000 + 2000 = 7000$		

目標の10000こに達するには、12月に3000こ集めればよいはずですが。

はるかさんの およその数の計算 で、12月に3000こ集めればよいことがわかります。実さいの数で計算しなくても、12月に3000こ集めればよいことがわかるのはなぜですか。

そのわけを、言葉と数を使って書きましょう。

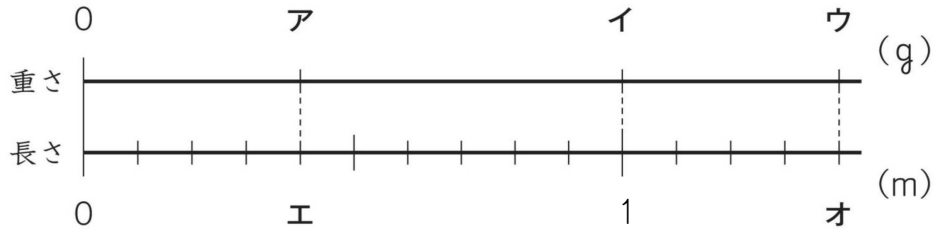
10

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 9 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

長さが0.4 mで重さが60 gの針金<sup>はりかね</sup>があります。

たけるさんは、針金1 mの重さが何gになるかを考えるときに、針金の長さ<sup>ながさ</sup>と重さ<sup>かさ</sup>の関係を下の図のように表して考えようと思いました。



(1) 1 mの重さを□gとして、上の図に表します。針金0.4 mの「0.4」、0.4 mの重さ60 gの「60」、1 mの重さ□gの「□」のそれぞれの場所は、上の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

1 60の場所

2 0.4の場所

3 □の場所

(2) 1 m分の重さは $60 \div 0.4$ の式で求めることができます。

たけるさんは、次のように考え、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

【たけるさんの考え】

$$60 \div 0.4 = \text{□}$$

↓10をかける   ↓10をかける   ↓変わらない

$$600 \div 4 = 150$$

だから、 $60 \div 0.4$ の答えの□は、150です。

【たけるさんの考え】にある「 $600 \div 4$ 」は、何m分の重さを求めている式といえますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

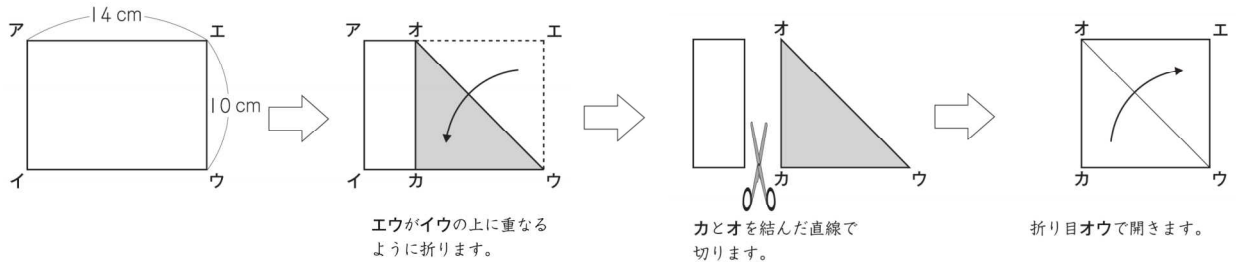
- 1 0.4 m分の重さ
- 2 1 m分の重さ
- 3 4 m分の重さ
- 4 10 m分の重さ

4

※次のページにも、問題があります。

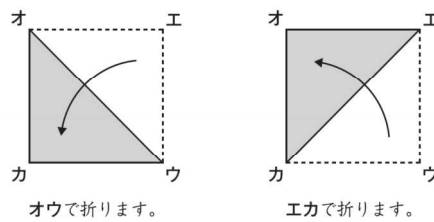
2

たてが10cm、横が14cmの長方形の紙を使って、下の図のような作り方で、正方形を作りました。



(1) よし子さんは、この作り方で、長方形の紙から本当に正方形を作ることができたかどうかを考えました。

そこで、下の図のように2とおりの折り方でぴったり重なれば、四角形**オカウエ**が正方形であることを確かめられると思いました。



実際に折ってみると、どちらもぴったり重なりました。

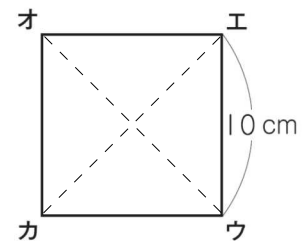
よし子さんが、上の2とおりの折り方で確かめたことは何でしょうか。下の1から4までの中から最もふさわしいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 対角線が垂直に交わること
- 2 4つの辺の長さが等しいこと
- 3 対角線がそれぞれの真ん中で交わること
- 4 4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しいこと

5

(2) よし子さんは、できあがった四角形**オカウエ**を見て、合同な三角形があることに気がきました。

三角形**オカエ**と合同な三角形は、三角形**オカエ**以外に、いくつあるでしょうか。下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 1つ
- 2 2つ
- 3 3つ

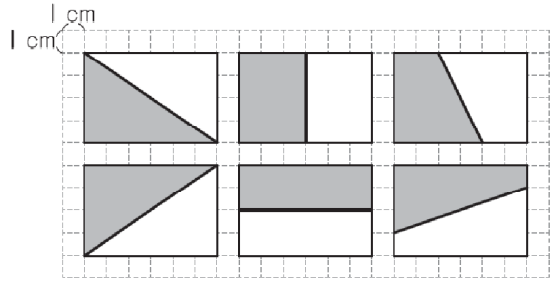
6

※次のページにも、問題があります。

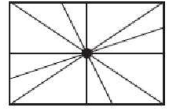
3

右の図のように、長方形の面積を2等分するために、その長方形に1本の直線を引き、2つの合同な図形に分けました。

右の図を見て、あかねさんは、次のことに気付きました。



これらの直線を1つの長方形にかいてみると、右の図のように、直線は1つの点を通っていることがわかります。  
 長方形の2本の対角線も、この点を通っています。  
 だから、長方形の対角線が交わる点を見つけ、この点を通る直線を引けば、長方形の面積をいつも2等分することができます。



(1) 図1のような2つの長方形を組み合わせた図形があります。

まず、図2のように、長方形の対角線が交わる点をそれぞれ見つけます。

次に、図3のように、2つの点を通る直線を引きます。

すると、図4のように、2つの長方形を組み合わせた図形は、オとカに分けることができます。

このようにすると、オとカの面積は等しくなります。

オとカの面積が等しくなるわけとしてふさわしいものを、1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

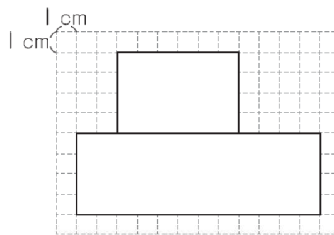


図1

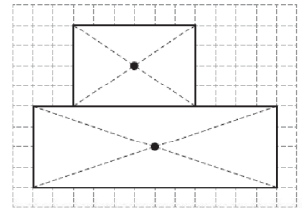


図2

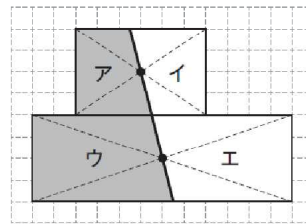


図3

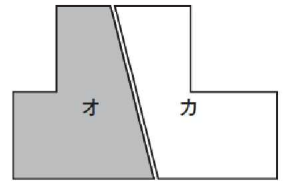


図4

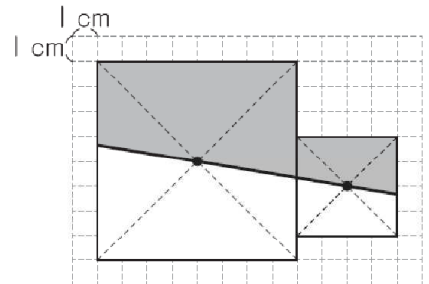
- 1 アとイの面積は等しく、ウとエの面積も等しいので、オとカの面積は等しい。
- 2 対角線が交わる点を通っているので、アとイの面積は等しく、ウとエの面積も等しいので、オとカの面積は等しい。
- 3 アとイの面積は等しく、ウとエの面積も等しい。オは、アとウを合わせた図形で、カは、イとエを合わせた図形なので、オとカの面積は等しい。
- 4 アとイの面積は等しく、ウとエの面積も等しい。オとカは同じ形の図形なので、オとカの面積は等しい。



(2) 2つの正方形を組み合わせた図形について考えます。

右のように、2つの正方形について対角線が交わる点をそれぞれ見つけ、その2つの点を通る直線を引きました。

色が付いた部分(■)の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。答えを書きましょう。



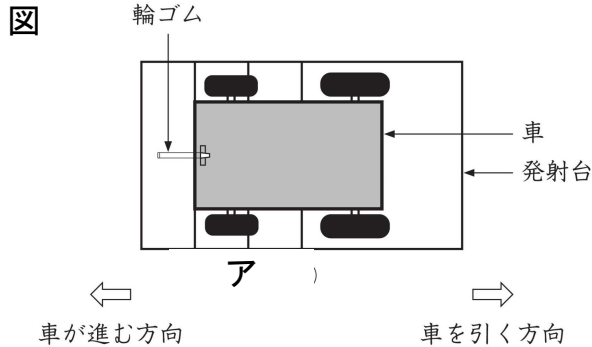
※次のページにも、問題があります。

4

かずやさんたちは、ゴムの力で動く車を作りました。

図のように車と発射台<sup>はっしゃい</sup>を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムのばしてから放すと、車が進みます。車の先頭が、図のア<sup>ア</sup>の位置に来るまで輪ゴムのばし、どれだけ車が進むのか、車が進んだきよりを5回調べ、表のようにまとめました。

表をもとに、きよりの平均を考えます。



回数	車が進んだきより
1	7 m 5 2 c m
2	7 m 3 1 c m
3	7 m 5 4 c m
4	7 m 2 0 c m
5	7 m 4 3 c m

表 アの位置に来るまで輪ゴムのばした場合の記録

かずやさんは、平均を求める計算を簡単にするために、7 mをこえた部分に着目し、次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 mをこえた部分の平均を求めます。

$$(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$$

7 mに、求めた平均の40 c mをたします。

車が進んだきよりの平均は、7 m 4 0 c mです。

はるなさんは、【かずやさんの平均の求め方】を聞いて、7 m 2 0 c mをこえた部分に着目しても、平均を求めることができると考えました。

【はるなさんの平均の求め方】

7 m 2 0 c mをこえた部分の平均を求めます。

車が進んだきよりの平均は、7 m 4 0 c mです。

【はるなさんの平均の求め方】の中の空らん<sup>らん</sup>に当てはまる式と言葉としてふさわしいものを、アからエまでの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

ア  $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$   
7 mに、求めた平均の40 c mをたします。

イ  $(752 + 731 + 754 + 720 + 743) \div 5 = 740$   
740 c mは、7 m 4 0 mです。

ウ  $(32 + 11 + 34 + 23) \div 4 = 25$   
7 m 2 0 c mに、求めた平均の25 c mをたします。

エ  $(32 + 11 + 34 + 23) \div 5 = 20$   
7 m 2 0 c mに、求めた平均の20 c mをたします。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 9 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

$\frac{2}{3}$  L のペンキがあります。このペンキの重さを量ると  $\frac{3}{4}$  kg ありました。さとしさんは、このペンキ 1 L の重さを次のように求めました。

【さとしさんの求め方】

$$\begin{aligned} \frac{\cancel{3}}{4} \div \frac{2}{\cancel{3}} &= \frac{1}{4} \div \frac{2}{1} \\ &= \frac{1 \times 1}{4 \times 2} \\ &= \frac{1}{8} \end{aligned}$$

(1) 【さとしさんの求め方】には、まちがいがあります。まちがいの説明として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア わられる数とわる数が逆になっている。
- イ わられる数を逆数にしていない。
- ウ 通分をしていない。
- エ わり算のまま約分をしている。

1

(2) ペンキ 1 L の重さを次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア  $\frac{8}{9}$     イ  $\frac{9}{8}$     ウ 8    エ  $\frac{1}{8}$

2

2

けいすけさんは、牛乳と紅茶を 3 : 5 の割合で混ぜてミルクティーを作ります。次の問いに答えましょう。

(1) 紅茶を 480 mL にするとき、牛乳は何 mL 入れればよいか書きましょう。

3

 mL

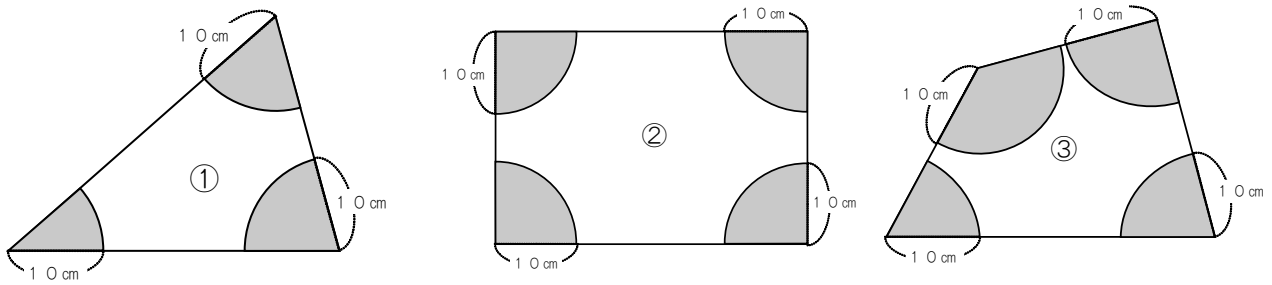
(2) 牛乳と紅茶を混ぜてミルクティーを 400 mL 作ろうと思いますが、牛乳が 120 mL しかありません。牛乳と紅茶を 3 : 5 の割合で混ぜたミルクティーを 400 mL 作るために必要となる牛乳の量を求める計算として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア  $400 \times \frac{3}{5}$                       イ  $400 \times \frac{3}{8}$
- ウ  $120 \times \frac{5}{3}$                       エ  $120 \times \frac{8}{3}$

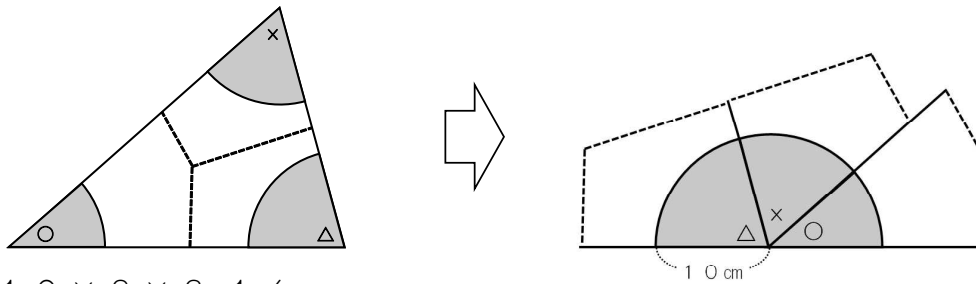
4

3

下の図のように、図形①②③の頂点を中心に半径10 cmの円の一部をかいて、黒くぬります。次の問いに答えましょう。



(1) 下の図のように図形①を3つの部分に切って頂点であわせると、黒くぬった部分は、円の半分の図形になりました。この図形の面積を求める式として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。



- ア  $10 \times 2 \times 3.14$
- イ  $10 \times 10 \times 3.14$
- ウ  $10 \times 2 \times 3.14 \div 2$
- エ  $10 \times 10 \times 3.14 \div 2$

5

(2) (1) のように、図形②を4つの部分に切って頂点であわせると、黒くぬった部分は、図形①の黒い部分を合わせた面積の何倍になりますか。答えを書きましょう。

6  倍

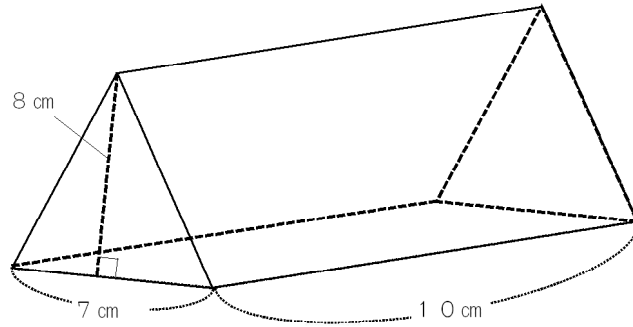
(3) 図形②の黒い部分を合わせた面積と、図形③の黒い部分を合わせた面積との関係の説明として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア 図形③に図形②の角よりも大きい角があるため、図形③の黒い部分を合わせた面積の方が大きい。
- イ 図形③に図形②の角よりも小さい角があるため、図形③の黒い部分を合わせた面積の方が小さい。
- ウ 図形②と図形③は、両方とも4つの角の和が $360^\circ$ で、4つの黒い部分を合わせると合同な円ができるため、面積は等しい。
- エ 図形③は角の大きさが決まっていないため、図形②と図形③のどちらの黒い部分を合わせた面積が大きくなるかは決まらない。

7

4

下の立体の体積について考えます。次の問いに答えましょう。



(1) さつきさん、ゆうたさん、みさきさん、めいさんの4人で、この立体の体積の求め方を話し合っています。

この立体の体積の求め方を正しく説明している人の名前を書きましょう。

さつきさん 「この立体は角柱で、底面が長方形なので、底面積は  $7 \times 10$  で求め、それに高さの  $8$  をかけると体積を求めることができます。」

ゆうたさん 「この立体は角柱で、底面が三角形なので、底面積は  $7 \times 8 \div 2$  で求め、それに高さの  $10$  をかけると体積を求めることができます。」

みさきさん 「さつきさんとゆうたさんのどちらの求め方でも体積を求めることができます。」

めいさん 「この立体は角柱ではないので、さつきさん、ゆうたさん、みさきさんの説明以外の求め方で体積を求めます。」

8

(2) この立体の体積を書きましょう。

9